

米倉教公の週間為替市場見通し

1/18 日週号

『中国市場・原油安に踊るドル/円』

ドル/円予想レンジ 116.20 - 118.40 円

■前週の市場動向

中国人民銀行が、市場介入により元安を抑えつつ対ドル基準値を元高方向に設定したことで、一旦は元安に歯止めがかかりリスク回避の円買いが弱まりました。しかし、先行きの不透明感は払しょくされず上海総合株価が節目とされていた 3000 ポイントを下回ると、リスク回避の円買いとなりました。13日に発表された12月中国貿易収支では、市場予想ほど悪化しなかったことで、一時は過度な警戒圏が後退しました。週末 NY 原油価格が 30 ドル割れとなったことや、発表された米 12 月小売売上高でコア小売が予想外に減少し、2009 年以來の低い伸びとなったこと。また、1 月 NY 連銀製造業景況指数も、2003 年 3 月以來で最低となったことを受けて、追加利上げ観測が後退したことでリスク回避の円買いが加速しました。11 日の安値 116.66 円をあっさり下回り、一時 116.48 円まで下落しましたが、引けにかけて買い戻しも入り 117.00 円目前で終了しました。

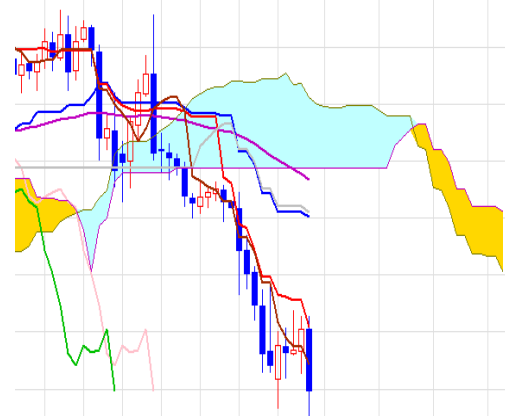
■今週の注目点

今週は 26-27 日の米 FOMC を控え、FRB メンバーはブラックアウト期間入りするためメンバーの講演は予定されていません。要人発言による為替変動は抑えられます。19 日に中国の 10-12 月期 GDP、12 月小売売上高、鉱工業生産などが公表されますが、指標が悪化の場合は政策具体化が焦点になる一方で、思ったほど悪化していなければリスク選好の動きにつながる可能性があります。また、20 日の米 12 月消費者物価指数が低迷すると、米債金利の低下とドル安を後押しします。21 日の ECB 定例理事会、ドラギ総裁の会見、20-23 日のダボスで開催される世界経済フォーラムでの各国指導者や企業高官の発言に注目が集まります。

■テクニカル的な見解

1 月 12 日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の +4,103 から +25,266 へと円の買い持ちが 3 年ぶりの高水準となりました。投機筋はドル買い・円売りから円買い・ドル売りへと相場観を変更していることを意味しています。一目均衡表の日足では、転換線・基準線・先行スパン 1・2 全てが下向きとなっていることで、円高に進行しやすい環境となります。下値では昨年 8 月 24 日安値の 116.14 円、昨年 1 月 16 日安値の 115.83 円、14 年 12 月 16 日安値の 115.55 円が目途となります。上値は 12 日の安値 117.20、転換線 9 の 118.09 円、13 日高値 118.38 円となります。

ドル/円：日足



全てのラインが下向きで円高リスク

★先週の気になる出来事

12 日の夜、黒田日銀総裁がノワイエ仏中銀総裁「退任記念シンポジウム」に出席しながら予定していた講演をキャンセルし、帰国の途に就きました。講演をキャンセルするくらいなら会合自体への出席を辞退するのが普通です。また、週末には『現時点で追加緩和する考えはないとの見方』を示しています。人間って反対の行動をしてしまうことがあります。29 日の会合には注意が必要かも！

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。